

週刊 タバコの正体

タバコが“人びとの健康”を害するのは明らかで、「百害あって一利なし」とであると認識している人が大勢います。そんな知識を持っている人は、あえてタバコを吸い始めないでしょうが、残念ながら何らかの事情でタバコを吸い始めてしまい、ニコチン依存症になってしまった人も大勢います。ニコチン依存になると毎日タバコが必要となるので、頻繁にタバコを購入しなければなりません。

そこで、左の写真を見てください。ざっと200種類ほどのタバコが、ずらっと並んでいますが、わりと見慣れた光景です。そうです、どこのコンビニでもレジ近辺はこんな風になっていますよね。

そして下のグラフにあるように、タバコは近年コンビニの売り上げの25%前後を占めるほどの主力商品なのです。だから、よく目立つところに、多く並べているのでしょうね。

「へー、そうなんか」と感じるでしょう。でもよく考えてみると、「百害あって一利なし」のタバコが全国どこにでもあるコンビニの主力商品となっているのは、いかがなものでしょうか。

売れる商品を守るのは当然ですが、タバコを単に“売れる商品”として売り続けてもいいのでしょうか。“人びとの健康”も考慮した手立てが必要ではないかと思います。

産業デザイン科 奥田 恭久



商品群別売上高構成比率推移
(連結・チェーン全店、ローソン)

